

# 第8回子宮の日全国アクションー2021報告会

## 4. 愛は子宮を救うーコロナ禍での 長野県細胞検査士会の活動

J A長野厚生連 南長野医療センター篠ノ井総合病院 臨床検査科

中村恵美子

信州大学医学部附属病院臨床検査部

小林 幸弘



# 第62回日本臨床細胞学会総会春季大会

## COI開示

筆頭演者名

中村恵美子

**今回の演題に関して開示すべきCOIはありません**



# 長野県細胞検査士会

- 2007年6月 細胞検査士会長野県支部 設立
- 2013年4月 長野県細胞検査士会 改称
  
- 会員数 152名
- 関係団体 長野県臨床細胞学会  
長野県臨床検査技師会 細胞研究班
  
- 活動 **公益活動（子宮頸がん予防啓発）**  
愛は子宮を救う実行委員会  
〔細胞検査士を中心に各関係者〕



# 長野県細胞検査士会の啓発活動

## 子宮頸がん予防啓発 「愛は子宮を救うin長野」



2011年5月 第1回「愛は子宮を救うin長野」

2012年5月 第2回「愛は子宮を救うin長野」

(於：長野市生涯学習センター トイゴ 参加者 400～500人)

2013年5月 第3回「愛は子宮を救うin長野」

2014年6月 第4回「愛は子宮を救うin長野」

2015年9月 第5回「愛は子宮を救うin長野」

2016年5月 第6回「愛は子宮を救うin長野」

2017年9月 第7回「愛は子宮を救うin長野」

2018年9月 第8回「愛は子宮を救うin長野」

2019年9月 第9回「愛は子宮を救うin長野」

(於：長野市若里市民文化ホール 参加者 1000～2000人)

## 2020年9月から10月 第10回「愛は子宮を救う」

- \* 長野県内中学2生全員に啓発資料配布
- \* 県内高校養護教諭全員に啓発資料配布
- \* パネルディスカッションの動画配信



# 過去におこなわれた 「愛は子宮を救うin長野」の様子①

(パネルディスカッション・顕微鏡でのがん細胞提示・検診車公開等)



7回からは男性も交えさらに充実したパネルディスカッション





# 過去におこなわれた 「愛は子宮を救うin長野」の様子②

(プロのボサノバ音楽・中学生吹奏楽・保育園児和太鼓・ポップダンス等)



赤羽泉美さんから「愛は子宮を救うin長野」のテーマ曲として「風のステンドグラス」を提供していただいた



# 過去におこなわれた

## 「愛は子宮を救うin長野」の様子③

(ネイル・メイク・マッサージ・農業高校生による生産物販売・福祉施設や一般業者さんによるパンやケーキの販売等)





# 第10回「愛は子宮を救う」の具体的な活動内容

1. 無観客でのパネルディスカッション開催と動画録画・配信
2. パネルディスカッションの内容を採録として信濃毎日新聞全県版に掲載
3. 啓発資料作成(マンガによる子宮頸がんやワクチンについての内容を作成)
4. 作成した啓発資料を長野県内中学2年生全員に配布
5. 県内高校養護教諭全員にも啓発資料を配布
6. 活動を行うために長野県内の医師会関係や一般企業に協賛をお願いし資金を集めた。
7. ご協賛いただいた企業・団体へ活動の成果報告と啓発資料を郵送





# 第10回「愛は子宮を救う」 パネルディスカッション動画①

子宮頸がん予防啓発プロジェクト「愛は子宮を救う」

パネルディスカッション

「みんなで楽しく子宮の話」

第2部 子宮頸がんを予防するためには

(前半 第1部「子宮頸がんと予防ワクチンについて」)



# 第10回「愛は子宮を救う」 パネルディスカッション動画②

子宮頸がん予防啓発プロジェクト「愛は子宮を救う」

パネルディスカッション

「みんなで楽しく子宮の話」

第2部 子宮頸がんを予防するためには

(前半 第1部「子宮頸がんと予防ワクチンについて」)



# 第10回 「愛は子宮を救う」 で作成した啓発資料の内容

子宮頸がん予防啓発プロジェクト

## 愛は子宮を救う

漫画でわかる どうする?! ワクチン接種 ②

14 子宮頸がん Q&A

22 子宮頸がんの現状

10<sup>TH</sup>

出してくず

子宮頸がん検診に行こう!

Special Interview

笹川寿之先生 16

赤羽泉美さん 18

鈴木真由美さん 19

長野県内子宮頸がん検診施設一覧 26

子宮頸がん最新ニュース 28

パネルディスカッション 30

関係者・協賛者一覧 32

24

### どうする?! ワクチン接種

お母さんが検査で子宮頸がんになっちゃった！

父 けんじ

母 けいこ

私 二女 あずみ

長女 はるか

この若さでがんになるとは！

幸い初期段階だったので、娘さんが検査を受けたお二人が子宮頸がんのワクチンはどうされますか？

はあ？

産婦人科医

年齢条件もあることだし、この機会に検討してみてもいいですね。

そらですか！

家族みんなで「ワクチン接種」を行う判断を迫られているが、答えを出せないでいるが





# 第10回「愛は子宮を救う」で作成した啓発資料の内容

子宮頸がんについてのQ&A (Q8つ)

子宮頸がんワクチンについてのQ&A (Q9つ)


**愛は子宮を救う**

---

**子宮頸がん Q&A<sup>1</sup>**

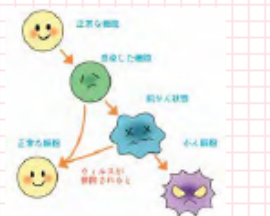
子宮頸がんについて、8つの疑問にお答えします

**Q1** 「子宮頸がん」ってどんな病気?



**A** 子宮の入口にできるがんで、子宮の奥にできる子宮体がんとは全く別の病気です。子宮体がん比べて発見しやすく、早期に見つかれば比較的治療しやすいがんです。

**Q2** どうして子宮頸がんになるの?



**A** ヒトパピローマウイルス (HPV) の持続感染が原因です。性交渉経験がある女性の8割以上が、一生に一度は感染すると言われています。また、感染しても約9割の人は免疫機能により自然に排除され、残りの一部が子宮頸がんとなります。

**Q3** 日本では子宮頸がんと診断される人はどれくらいいるのですか?

**A** 毎年約30,000人が新たに子宮頸がん(上皮内がん含む)にかかり、約10,000人が子宮を失い、約3,000人が亡くなっています。


**Q4** 最初はどんな症状なの?(もしや子宮頸がんでは、という予兆・サインはあるの?)

**A** 初期では自覚症状がありません。このため、性器からの出血やおりもの異常などが見られてからでは既に進行している場合があります。早期に見つけるためには定期的な検診が重要です。

**子宮頸がん Q&A<sup>3</sup>**

子宮頸がんワクチンについて、9つの疑問にお答えします

**Q1** 子宮頸がんワクチンってなんですか?




**A** 子宮頸がんの原因であるHPVの感染を防止で子宮頸がんを予防するためのワクチンです。2009年から日本国内で使われていますが、2013年には国の定期接種になり、小学校6年生から高校1年生までの女子が無料でこのワクチンを受けられるようになりました。

**Q2** 子宮頸がんワクチンはどこで接種してもらうことができますか?

**A** 小児科、産婦人科、内科などで接種可能です。かかりつけの病院や開業医に電話で問い合わせてください。

**Q3** 定期接種対象者以外の年齢では受けることはできないのですか?



**A** 希望すれば接種することはできますが、自費負担となります。通常のスケジュールでは6ヶ月間に3回の接種を行い、費用は合計5万円くらいです。

**Q4** ワクチン接種後、痛みや腫れなど様々な症状を訴えた人がいましたが心配です。

**A** 実際に痛みや運動障害などの症状が出た方はいらっしゃいます。しかし、これについて国内外でたくさん研究を行ったところ、ワクチン接種後に現れたさまざまな症状にワクチン接種との因果関係は認められなかったという結果が得られています。また、国は、接種後に出現した症状についていつでも専門家に相談できるようにすべての都道府県に指定医療機関を設けています。

12

15



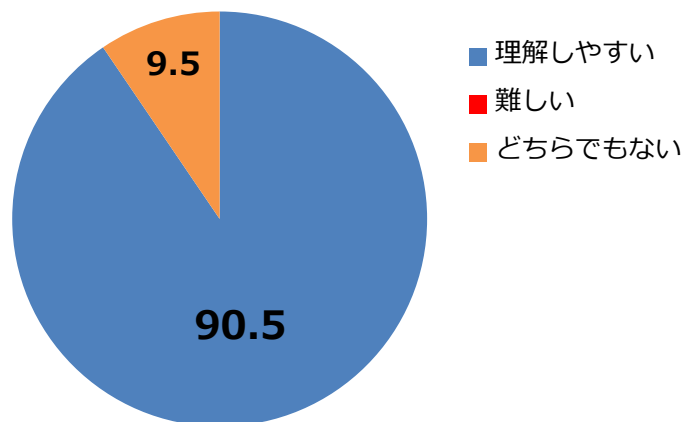
# 第10回「愛は子宮を救う」の活動への反響

1. 子宮頸がんワクチンについてわかりやすくマンガを使って啓発冊子を作成し長野県の中学2年全員に配布したことが信濃毎日新聞に記事として掲載されウェブニュースとしても配信された。
2. ウェブニュースを見たことで県内外からの問い合わせがいくつ寄せられた。県外の小児科医会・大学の教室・関東圏の個人・県内の医療機関検診担当者・子宮頸がんワクチンについての活動を進めている町会議員などから啓発資料を分けてほしいと連絡があった。
3. 配布された資料を見たことで家族と話し合いワクチン接種を行ったという声もいくつもとどいた。
4. 年度末に県内中学校養護教諭にアンケートを行い学校の様子を聞いてみた。(次のスライド参照)

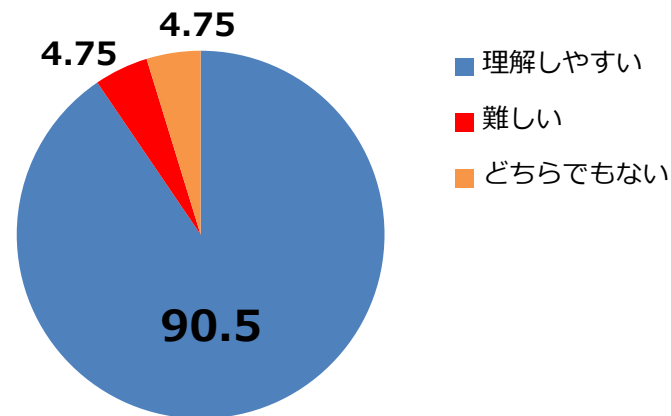


# 「愛は子宮を救う」啓発資料配布後のアンケート結果①

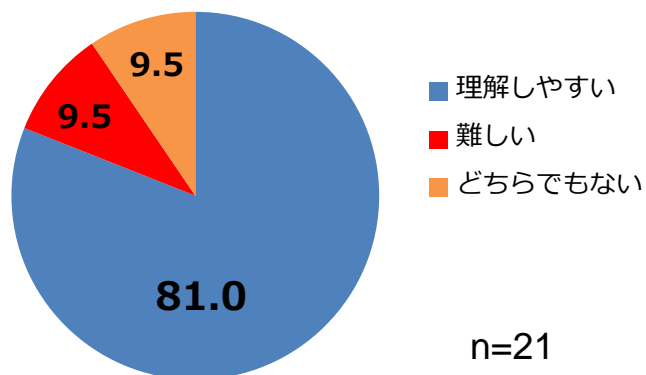
①マンガによる子宮頸がんワクチンについての内容は理解しやすかったですか？



②Q&A子宮頸がんについての内容は理解しやすかったですか？



③Q&A子宮頸がんワクチンについての内容は理解しやすかったですか？



n=21



# 「愛は子宮を救う」啓発資料配布後の アンケート結果②

1. 配布後生徒が家の人と読み、母親が「ワクチン接種に行こうか」と言っていたという話しをしてくれた。
2. わかりやすい内容でワクチン接種への意識が高まると思う。
3. マンガやイラストが多く生徒たちも興味をもって手にしやすいと感じた。
4. 保健室にも置いておいた。中学1年生には少し難しい。3年生くらいになるとよく理解していた。
5. 保護者の方と一緒に読んで考える機会になっていけばよいなあと感じた。中学生だけでは難しさがあるのではと思った。
6. 男子にも配布する意味のあるものだった。



# 第10回「愛は子宮を救う」の成果と今後の課題

1. 長野県内中学2年生全員(男子も含め)に配布できたことは若者に対する啓発活動として意味のあるものだった。
2. 配布された啓発冊子がきっかけでワクチン接種への行動となったという報告があった。
3. ワクチンの効果や海外での研究調査など正しい情報を伝えるとともに、早期発見には検診が必要なことを伝えていく必要がある。
4. 学生など若い人に対しての啓発活動は特に重要。学校の授業などに取り入れてもらうなどさらなる行動が必要。
5. パネルディスカッションの動画配信を行ったがアクセス数がそれほど多くなかった。若者にアクセスしてもらえようもっと工夫が必要と思う。
6. 行政との連携で最も検診を受けてほしい20歳代から30歳代の人々が検診を受けやすいような環境をコロナ禍においても作っていく必要がある。(休日検診や保育など子連れでも受診できるような環境づくり)
7. がんを発見し診断している専門家として社会に向け発信していく姿勢も重要





**学会長の生水 真紀夫先生  
座長の三宅 真司先生、今枝 義博先生に  
感謝申し上げます。**

